

市議会だより さつて



今年も権現堂4号公園の畑でヒマワリが咲きました。

5月臨時会・6月定例会のおもなことから

- ・ 正副議長や常任委員会の所属を決定 …… 2～3ページ
- ・ 5月臨時会・6月定例会議案 …… 4～6ページ
- ・ 各常任委員会での審査 …… 6～7ページ
- ・ 市政に対する一般質問 …… 8～15ページ
- ・ 議決結果の一覧、編集後記 …… 16ページ

※諸般の都合により発行が1か月遅れた事をお詫び申し上げます。

No.107
2023年
9月

就任にあたって



議長 枝久保 喜八郎



副議長 本田 謡子

私どもは、令和5年5月16日に開かれました第1回市議会臨時会において、議員各位のご推挙により、正副議長の重責を担うことになりました。誠に身に余る光栄であり、与えられた責務を果たすべく、誠心誠意努力してまいります。

市政におきましては、少子高齢化の進展と人口の減少という大きな社会問題への迅速かつ適切な対応および安全安心な街づくり、子育て・教育環境の充実、

地域産業の振興など、社会状況や自然現象の変化に伴うさまざまな課題について、より積極的に取り組むことが求められています。

このような中、市議会におきましては、二元代表制の一翼を担う機関として、前述の諸課題に対し、的確な行政運営が行われるよう積極的な提言に努め、市政および幸手市の発展に力を尽くしていかなくてはならないと考えています。

4月に執行された市議会議員一般選挙では、新たに四人の議員が当選されました。議会の活性化に寄与してくださるものと大いに期待しているところであります。そして、若手からベテランまですべての議員が、自己研鑽と資質の向上を図り、市民の皆様へ信頼される議会を目指しながら、市政の課題解決に取り組んでまいります。

市民の皆様には、市議会に対し、引き続き格別のご支援とご協力を賜りますよう、改めてお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

ご挨拶



幸手市長 木村 純夫

4月に行われた市議会議員選挙におきまして、市民の皆様の大きな期待を担い、見事、当選の栄誉を勝ち取られた15名の議員の皆様へ、心よりお慶び申し上げます。

昨年から、様々なイベントが開催されるようになり、今年5月8日には、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類感染症に移行されました。新型コロナウイルスの感染状況

を注視しながら、市では、今後も、市民の皆様が安全に安心して暮らせるまちを目指し、必要な施策・事業を積極的に進めて参ります。

言うまでもなく、地方自治は議会と首長の二元代表制で、議会は市の方針を決定し、その執行を監視する機関でもあります。幸手市のさらなる発展・飛躍のため、議会と市とが互いの権限に敬意を払い、市政を正しく運営していくことが大変重要であります。

議員の皆様におかれましては、市民本位の市政運営を推進し、「みんなで作る幸せを手にするまち」の実現に向けて、格別のご支援ご協力を切にお願い申し上げます。

表彰

埼玉県市議会議長会の定期総会において、宮杉勝男前議長に感謝状が贈られました。



議員の紹介

①会派名
②当選回数



四本 奈緒美
①公明党
②2回



芦葉 弘志
①公明党
②1回



宮澤 大地
①無所属
②1回



小泉 圭司
①無所属
②1回



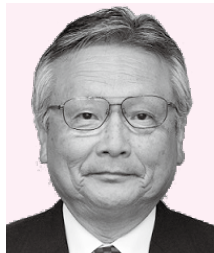
高野 優一
①新緑
②1回



松田 雅代
①無所属
②4回



木村 治夫
①無所属
②4回



枝久保 喜八郎
①無所属
②4回



小林 英雄
①新政会
②3回



坂本 達夫
①無所属
②2回



大平 泰二
①日本共産党
②10回



青木 章
①新緑
②7回



藤沼 貢
①無所属
②7回



本田 謡子
①新政会
②4回



小河原 浩和
①新緑
②4回

議員の役職一覧

議長	枝久保喜八郎					
副議長	本田 謡子					
議会運営委員会委員	◎小河原浩和	○四本奈緒美	小林 英雄			
総務常任委員会委員	◎四本奈緒美 木村 治夫	○高野 優一 松田 雅代	芦葉 弘志 藤沼 貢	坂本 達夫 青木 章	小林 英雄 大平 泰二	
文教厚生常任委員会委員	◎坂本 達夫 木村 治夫	○芦葉 弘志 小河原浩和	小泉 圭司 本田 謡子	宮澤 大地 青木 章	枝久保喜八郎 大平 泰二	
建設経済常任委員会委員	◎小林 英雄 枝久保喜八郎	○宮澤 大地 松田 雅代	高野 優一 小河原浩和	小泉 圭司 本田 謡子	四本奈緒美 藤沼 貢	
利根川栗橋流域水防事務組合議会議員	小泉 圭司 木村 治夫	宮澤 大地 藤沼 貢	芦葉 弘志 青木 章	小林 英雄	枝久保喜八郎	
広域利根斎場組合議会議員	高野 優一	四本奈緒美	本田 謡子			
埼玉東部消防組合議会議員	坂本 達夫	松田 雅代				
都市計画審議会委員	小河原浩和	大平 泰二				
議会広報編集委員会委員	◎枝久保喜八郎 芦葉 弘志	○本田 謡子 坂本 達夫	高野 優一 小林 英雄	小泉 圭司 大平 泰二	宮澤 大地	

◎委員長 ○副委員長 (議席番号順)

改選後 初の臨時議会

令和5年5月16日、議会改選後初の臨時議会（会期1日）が開催され、議長・副議長、議会運営委員の選任について、常任委員の選

任について、利根川栗橋流域水防事務組合議会議員の選挙について、広域利根斎場組合議員の選挙について、埼玉東部消防組合議会議員の選挙について等の議会構成（前掲載）を決定いたしました。市長提出議案では、専決処分4件（幸手市税条例の一部を改正する条例、幸手市都市計画税条例の一部を改正する条例、幸手市国民健康保険税条例の一部を改正する条例、令和5年度幸手市一般会計補正予算（第2号））の承認を求めることについて、令和4年度中に設定した6件（事故繰り越し1件含む）の繰り越し計算書の報告がなされた。

6月定例議会

一般会計補正予算（第3号）含む、市長提出議案4件を可決
請願第1号 学校給食の完全無償化に関する件 不採択
請願第2号 18才までの医療費を無料化に関することを求める件 不採択
追加議案第38号 監査委員の選任について 不同意
決議案第2号 枝久保喜八郎議員の議長不信任決議 可決

6月定例会は、6月1日から22日間の日程で開かれ、市長提出議案、第34号 幸手市税条例の一部を改正する条例、第35号 幸手市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例、第36号 令和5年度幸手市一般会計補正予算（第3号）、第37号 固定資産評価員の選任についての4件を可決・同意しました。請願第1号 学校給食の完全無償化に関する件、請願第2号 18歳までの医療費を完全無償化に関することを求める件は審査の結果、不採択となりました。また、追加議案となった監査委員の選任については不同意となりました。さらに、議会最終日の22日決議案第2号 枝久保喜八郎議長に対する不信任決議案が提出され可決されました。

決議案第2号

枝久保喜八郎議員の議長不信任決議案

枝久保喜八郎議長は、議会選出による監査委員の人事案について、令和5年第1回幸手市議会臨時会に続き、第2回幸手市議会定例会においても、市長に対し積極的に提案を促すことをせず、会期中を通じて人事案提出に前向きに関与しなかった。

この間、3会派の代表者から、議長が調整を図るべきで、今議会中に必ず監査委員を選任するよう申し入れを行ったにもかかわらず、議会が混乱しただけで結果的に会期中の選任には至らなかった。

これにより、今後予定されている令和4年度決算審査は、代表監査委員1名で対応しなければならず、適正な監査業務に重大な支障をきたす危険性が高まった。

このように、議会の中心となって議員を取りまとめるべき立場であるにもかかわらず、監査委員が選出されなかったことは指導力不足であり、前代未聞の事態となった。

また、会派代表者からの申し入れにも耳を傾けない姿勢は、議長として全く不適格であり、今後の議会運営を委ねることはできない。

よって枝久保喜八郎議長に対し不信任を決議するものである。

提出者 小河原浩和
賛成者 青木 章
松田 雅代
高野 優一
宮澤 大地

質疑

議会全体の責任で、議会選出の監査委員を出すことを、今議会ですでにできなかったというのは、自分たち全員が責任を取らなければいけないことです。ですから、議長だけの責任にしていいのかどうか伺います。

答弁

考えが違ふと思います。

反対討論

坂本 達夫

議長不信任決議(案)に反対する立場から討論を行います。

監査委員選任について、議長の指導力不足によって、監査委員が選出されなかった。これは、議長の責任だという。

しかし、考えてみれば、我々議員は、監査委員選出について、議長にどれだけ協力したのか、選出できなかったことに我々議員にも大きな責任があります。

よって、選出できなかったことの責任を議長一人に押し付ける議長不信任決議に反対します。

学校給食無償化を求める請願と 子ども医療費の無料化を求める請願

賛成討論

大平 泰二

市の給食費補助制度では現在給食費補助金として2076万4027円を支出しており、ほかにも就学援助給食費として2798万5762円を支援しているところ

です。市の現在の学校給食費補助制度は、平成25年度より保護者の経済的負担の軽減を目的としまして実施している事業です。事業を開始して10年目を迎えており、保護者の方々からも、第1子も補助対象にしてほしいなどのご意見やご要望も寄せられています。

学校給食無償化を学校教育の一環として、また保護者の経済的負担の軽減、少子化対策や人口減少対策として位置付けることは重要です。

政府も令和5年3月31日少子化対策のたたき台として給食費の無償化を正式に公表しました。

完全無料化になりますと、令和

4年5月現在の幸手市の児童生徒数3238人により算出したしますと給食費費用は1億5996万円となり、これを毎年一般財源で負担することになりますので、財政的にはかなり難しいものとなりますが、財源的には可能です。

子ども医療費の無料化は子育て政策の中でも命と健康に関わる重要な課題です。

幸手市では通院入院ともに中学校終了までの医療費（保険診療分）が病院や薬局の窓口で支払う額が無料となっています。

埼玉県では熊谷市、行田市、秩父市、本庄市、東松山市、鴻巣市、深谷市、桶川市、北本市、蓮田市、白岡市等の11市で18歳までの医療費無料化を実施しています。幸手市でも18歳までの医療費無料化を実施するためには2380万円必要としています。これも財源的には可能です。

総務常任委員会

幸手市税条例の一部を改正する条例（議案第34号）

令和5年度幸手市一般会計補正予算（第3号）（議案第36号）

問 特定小型原動機付自転車の軽自動車税種別区分の見直しの内容については。

答 これまでは、50cc以下、あるいは0.6キロワット以下のものは、電動キックボードであっても同じ区分の原動機付自転車としての扱っていたが、令和5年7月1日からの法改正により、電動キックボードに対して、特定小型原動機付き自転車という新たな区分が設けられた。

改正に伴う変更点として、これまで必須とされていた運転免許証が不要となり、ヘルメットの着用については必須から任意（努力義務）へ変更されることになる。

また、車道のみとされていた走行場所が自動車専用道路も走行可能となるほか、ナンバープレートは、車体に合わせた安全性を加味し、小さなナンバープレートが交付されることになる。

問 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の使途については。

答 一つ目は、低所得者の特別給付金として3万円を5500世帯に。二つ目には、国から推奨された事業として、物価高騰と食料費高騰に対応する事業に予算を編成した。

問 会計年度任用職員報酬の内訳については。

答 マイナンバーカード交付事業に2名分（1日7時間、週5日、8・9月の2か月分で77万3500円）。また、低所得世帯特別給付金支給事業については、2名分（1日7時間、週4日、7月から令和6年2月までの8か月間を予定として241万3320円）。合計318万7千円を計上している。

文教厚生常任委員会

幸手市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例
(議案第35号)

問 個人番号カードをスマートフォンで表示できるという内容については。

答 現在、個人番号カードを使用してコンビニエンスストアで印鑑登録証明書を取得することができ、それに加えて、スマートフォンを使用して印鑑登録証明書を取得できるように改正を行うものである。

令和5年度幸手市一般会計補正予算
(第3号)
(議案第36号)

問 街路灯に対する電気料補助金357万2千円の内容については。

答 幸手市街路灯に対する電気料補助事業の中で実施しているもので、自治会等が設置している街路灯に係る電気料を6割補助してい

建設経済常任委員会

令和5年度幸手市一般会計補正予算
(第3号)
(議案第36号)

問 畜産飼料価格高騰対策事業補助金2万3千円の根拠については。

答 酪農経営体としては、一軒であり、国の配合飼料価格安定制度に加入している。その加入に際し酪農家自身の負担分が負担金として、1トン当たり600円となり、購入量に自己負担分をかけたものが酪農家の負担額になる。

問 その600円のうち半分が補助金額となり、単価300円に対して、今年度の購入契約料が75トンになることから、今回、2万3千円の計上となった。

問 ハッピーエール応援券事業について、配布対象者、配布予定日、および使用できる店舗の内容については。

答 対象者は、令和5年8月1日

現在の住民基本台帳に掲載されている市民を対象に考えている。配布予定日は、10月1日から使用できるように考えており、使用できる店舗については、昨年度、実施した事業では288店舗、使用できたので再度募集するが、同様の数になるかと考えている。なお、現時点においては、昨年度同様大型スーパー等では使えないものと考えている。

問 商店街街路灯電気料補助金15万4千円の内容については。

答 商店街街路灯電気料補助金の支払いは、街路灯環境整備組合という団体にであり、その団体が市内に18団体ある。その団体に支払っている。

環境整備組合は、例えば、上高野地区には上高野環境整備組合がある。また、幸手駅前通り環境整備組合、行幸長倉環境整備組合など、ある程度の地区でまとまって環境整備組合を作り地区で一緒に街路灯管理をしている団体もある。

市政に対する

一般質問

今定例会では、14人の議員が6月2日、5日、6日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずねるもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

芦葉弘志議員

- 子育て支援に関わる、子ども医療費について
- 交通難民をなくす施策について
- AEDの屋外設置について
- 自転車ヘルメット努力義務化について

坂本達夫議員

- 中川崎、下川崎の道路事情について
- 市役所入口交差点、右折禁止解除の進捗状況と市の方針について
- 幸手駅西口の道路整備、駐輪場整備とにぎわいづくりについて
- 幸手駅に設置したピアノについて
- 木村純夫市長の任期満了について

藤沼貢議員

- 人口減少問題について
- 幸手駅西口のまちづくりについて
- 施設園芸トレーニングセンターについて

宮澤大地議員

- 幸手市の交通安全意識について
- 幸手市の防犯対策について
- 幸手市を特集した「出没!アド街ック天国」放送内容について

大平泰二議員

- 市民生活を支える市内循環バス問題
- 水道・下水道還付・充当の不備問題
- 駅西口土地区画整理問題
- 通学路の横断歩道橋の安全性について
- 若者が集える街づくりについて

小泉圭司議員

- 幸手市の公共交通について
- “とねっと”の事業終了について
- 小学校の統廃合計画について
- 市内の慢性的な渋滞の解消による安全確保について
- 水害対策の資産の垂直避難について
- 民間との協働の在り方について

高野優一議員

- 健全な財政運営について
- ふるさと納税による寄附の拡大について
- 地域農業の推進について

本田謡子議員

- 選挙公報について
- 公共施設における自動販売機設置について

小河原浩和議員

- 駅ピアノの早期実現について
- 移動販売車の必要性の高まりについて
- 地域猫の現状や今後について

四本奈緒美議員

- がん対策について
- 自主防災組織のSMSを活用した情報の一斉送信システムへの補助金について
- 朝日バスの運行廃止と今後の公共交通について

青木章議員

- ゆめファーム全農について
- 天神の湯等の対応について
- 市長公約について

小林英雄議員

- 安心安全なまちづくり（交通安全対策）について
- 安心安全なまちづくり（防犯のまちづくり）について
- 市道の整備と維持管理について

松田雅代議員

- 利便性の高い公共交通の推進について
- 連携協定等対外連携の確実な更新について
- クールスポットの設置について

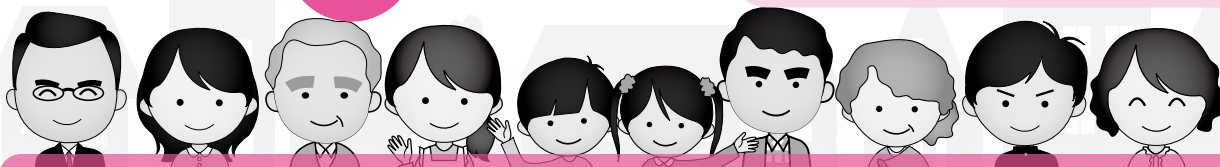
木村治夫議員

- 空き家バンク実施事業について
- 地域農業の振興について
- 地域資源を活かした観光・地域振興について

あなたの声

9月定例会
のお知らせ

詳しくはホームページを
ご覧ください。



幸手市は1人45分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。議会だよりではスペースの都合上、質疑と答弁が要約してありますので臨場感ある、本会議場での傍聴をお待ちしています。

- それぞれの内容の詳細は会議録および市議会ホームページ（インターネット映像配信システム）でご覧になれます。
- 会議録は図書館、各公民館の図書コーナー、市役所の情報公開コーナー、または市議会ホームページで公開しています。
- 6月定例会の会議録は8月下旬頃公開予定です。

子育て支援に関わる、子ども医療費について



芦葉弘志議員

Q

本年4月1日に、子ども家庭庁も発足し、国の公式ホームページには、「子どもと家庭の、福祉や健康の向上を支援し、子どもの権利を守るための子ども政策に強力なリーダーシップをもって取り組みます。」となっている。又、子ども・子育て支援法では、子どもの定義は、「18歳に達する日以後

A

当市では、子ども医療費支給事業の対象年齢を、現在、入院・通院ともに15歳の年度末までとしている。対象年齢を18歳の年度末まで引き上げることについては、

市の財政負担など、考慮すべき点は多数あるが、子育て支援施策としてたいへん有益と考えるので、できる限り早期の実施に向けて、積極的に取り組んでいきたい。

(市長)

中川崎、下川崎の道路の安全確保を



坂本達夫議員

Q

中川崎、下川崎の道路は、久喜新道方面から旧大宮栗橋線に向かう車と4号線に向かう車が、抜け道として利用しています。このような中で、小学生、中学生、高校生が徒歩や自転車を通います。この道路は、狭く、交通量も多く極めて危険です。市長は、この道路に対し、ど

A

都市計画道路(杉戸幸手栗橋線)を整備することで、交通の分散が見込まれます。しかし、大規模な事業になるため、中川崎・下川崎地区について、現時点では、設計業務は

未実施です。今後、検討していきたいと考えています。

また、通学路等の交通安全対策については、今後も、引き続き、幸手警察署や地域の皆様と調整を図りながら、必要な施策を講じて参ります。

(市長・建設経済部長・市民生活部長)

人口減少問題について



藤沼 貢議員

Q 人口減少の減少をどのように捉えているのか伺う。又人口減少対策にどう取り組まれるのか伺う。

施設園芸トレーニングセンターについて、この施設の事業内容について伺う。

A 令和4年度においては、社会動態は増加となったが、自然動態による減少が上回り、結果として人口減となっている。今後も総合戦略に掲げる取組を着実に進め、既存事業を検証しながら新たな施策も検討していく。

施設園芸トレーニングセンターは、新規就農希望者が栽培技術や農場運営の実践を積むための施設である。神明内地区に大規模温室4棟が設置される計

画となっており、新たな雇用の創出や市の活性化に繋がるものと確信している。

(市長・総合政策部長・建設経済部長)

幸手市発展のための市内プロジェクト



宮澤大地議員

Q 本年3月に幸手を特集した「出沒！アド街ック天国」が放送されました。

その中で幸手は「何かとワースト1位」「消滅可能性都市・幸手」と紹介されてしまい、不安を覚えた市民は多かったかと思えます。

情報を積極的に発信しないという「幸手は何もしていない」と印象付けられてしまいま

す。市民の不安を払拭する好材料として、幸手市の発展に繋がる大きなプロジェクトは計画されていますか。

A 現在、神明内地区では、全農による新規就農者育成のための施設園芸トレーニングセンターの設置構想があります。また、上高野地区には、農業基

盤整備により、大規模な施設園芸農業、道水路の再編、非農用地の創出を行う構想があります。幸手中央地区産業団地に隣接する神扇地区においては、更なる産業団地整備が検討されています。

今後、市の発展に繋がる事業等について、積極的に情報発信を行ってまいります。

(市長)

市内循環バス路線の改善について



大平泰二議員

Q 市内循環バス路線を基本とした往復路の設置と、

この間の医療機関との協議の結果、更には香日向から東鷲宮駅までのバス路線を市内循環バス路線に組み入れることについて、朝日バス運営の杉戸高野台駅から幸手駅までのバス路線廃止に伴う同路線に市内循環バスを適用することについて伺う。

A

令和4年1月に運行を開始した市内循環バスに

設置や民間路線の関係についてもその中で考えていく。

(市民生活部長)



市民にとって重要な足となる公共交通の確保



小泉圭司議員

Q 時代の流れと共に住民の平均年齢も大きく変化

しそれに伴い移動先のニーズも変化し通勤での利用が減り、逆に医療機関や役所へのニーズが高まり運転免許証の返納などにより買い物足の確保が必要となつていきます。

時代に合わせた主要な目的地を經由するルートに変更又は新

規の路線として利用者を増やし継続的に運営していただく方法を提案することは出来ないのか考え方を伺う。

A

現状、幸手市の主な公共交通は、民間事業者が運行している鉄道、路線バス、タクシーと、市が運行している

循環バスがあるが、その存在は、人々のライフスタイルの変化や、人口動態、或いは、地域特性の違いなどと密接な関係にありま

す。

このことに加え、運行データや市民のニーズなどを踏まえながら、市では、今年度、地域公共交通計画の策定を進めていきます。その中で、今後の幸手市にとってよりよい公共交通のあり方について検討を重ねていきます。

(市民生活部長)

ふるさと納税の寄附拡大に向けて



高野優一議員

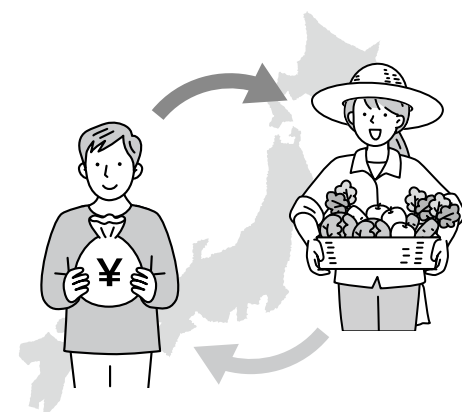
Q 市民サービスの向上の為に自主財源の確保が必要不可欠であり、今まで以上に努力する必要があります。

そこで厳しい財政状況からの突破口としてふるさと納税を大いに活用するべきと考えており、寄附額の更なる拡大に向けた取り組みを伺う。

A ふるさと納税では、ふるさと納税サイトへの掲載を令和元年度から開始し、毎年、返礼品を拡大しており、現在28社、131品目を掲載しています。今年2月からは、仕事や観光で市内に来られる人が、食事等のサービスをスマートフォンで決済できる「ふるさと納税電子商品券」を導入しました。

今後も、寄附者のニーズにあう魅力ある返礼品を増やすほか、企業版ふるさと納税を含め様々な場面で積極的にPRし、納税額の拡大を進めます。

(総合政策部長)



選挙公報の配布は公平なのか



本田謡子議員

Q 選挙公報とは、候補者の氏名、所属政党、経歴、政見などを掲載し、選挙管理委員会が発行・配布するもの。有権者にとって選挙公報は重要な情報源である。さて、選挙公報の新聞折り込み配布は、新聞購読をしない方や折り込みを断る方などが増加傾向にある。そこで、選挙人数と選挙公報折り込み件数、発行数等を伺う。また、現在の問題点や今後

の市の対策を伺う。

A 先般の市議会議員選挙では、選挙人が42,390人、22,493世帯に対し、新聞折込の件数は12,900件。また、新聞を購読していない方に向けて補完措置として市内22施設に440枚を配置した。発行数は1万5千枚である。現在の問題点は『新聞購読率減少』により紙による選挙公報が行き届いていないことである。新聞折込やホームページの閲覧等ができない方に、個

別の依頼に基づき、郵送による配布を、実施に向けて検討する。

(選挙管理委員会書記長)



買い物弱者救済の移動販売車導入の課題は



小河原浩和議員

Q

市街地・農村部を問わず、高齢化の進行とともに公共交通の脆弱さや店舗の大型化・郊外化により、日常のお買い物に不便を感じる「買い物弱者」が大きな社会問題となり、喫緊の市政課題と考える。問題解決の手段として移動販売車の導入を提案したが、導入に向けての市の考え方や課題を伺う。

A

買い物弱者については、環境的な理由や身体的な理由により、移動手段に乏しく、食料等の日常の買い物に困難な状況に置かれており、当市においても一定数いると考えている。そのため、市では市民の暮らしやすい街づくりとして、買い物に困難な方の状況について引き続き分析を行うとともに、今ある地域資源の更なる活用とその周知に努め、より多くの方の困難が解消されるよう、丁寧に検討していきたい。



(市長)

がん患者の気持ちに寄り添うがん対策を



四本奈緒美議員

Q

幸手市においてがんに罹り、治療をしながら仕事や学業を続け、子育てや家族の介護をしたり、また、治療に専念している市民も多い。

脱毛や乳房切除など、外見の変化に悩む方への「アピアランスサポート」や、介護保険が適用されない20歳から39歳までの末期がん患者への「若年者在宅ターミナルケア支援事業」等、がんと闘いな

A

人生百年時代の健康について取り組んで来た。この中には病や障害があっても様々な選択ができ、一人ひとりが豊かな人生を全うできる社会の実現を含んでいる。

ご質問をいただいたアピアランスサポートやターミナルケアは、がん患者の方やそのご家族が前向

きに生きていくうえで重要であると認識している。

がんを患った方やそのご家族の声に耳を傾け、寄り添った支援や施策を市が実施できるよう取り組んでいく。

(市長)

「天神の湯」早期再開に向けて



青木 章議員

Q

ウエルス幸手内にある「天神の湯」は、平成17年4月にオープンして以来、多くの市民に親しまれて来ました。ピーク時には、年間約10万人の人が利用する人気の厚生施設です。コロナ禍を理由に休館をしている中で、約1千万円の税金を使っている中、約1千万円の税金を使い修繕しました。市長は、この税金を使ったにもかかわらず、本年3月議会に閉館案を提出しました。結果

A

天神の湯については、これまで多岐にわたり修繕を実施してきており、今後も施設の老朽化により、修繕が更に必要となるのが想定されます。この状況を総合的に勘案した場合、天神の湯を存続していくよりも、施設の維持管理に係る費用等を新たな市の施策や既存の事業に

充てていくことが将来的にも有効と考えております。先の議会において、議員の皆様からいただいたご意見を参考に代替案も含め、検討してまいります。

(市長)

「防犯のまちづくり」防犯カメラの必要性は



小林英雄議員

Q

今年5月、北一丁目の住宅で2人組による強盗事件が発生した。(現在も未解決)犯罪の機会を与えない、つくらせない為に市民による防犯パトロール、防犯機器の活用、街路灯の設置等、市としても市民の皆様の協力の元、犯罪をおこさせにくい地域環境づくりをしている。今後犯罪の凶悪化が予想されることから、犯罪の発生場所として注意を用する、被

A

市は、青色回転灯を使用した防犯パトロールや自主防犯団体の活動などの「地域の見守りの目」を、市民の皆様や警察とともに充実・強化し、防犯のまちづくりに取り組んでいる。

防犯カメラについては、犯罪発生の抑止力や、犯罪が発生した際の捜査および犯人の特定に一定の効果が発揮するものと承知している。一方で、プライバシー侵害や肖像権の問題が発生することが課題となることから、その必要性について調査研究していく。

(市民生活部長)

地域公共交通、近隣鉄道駅も対象に再構築を



松田雅代議員

Q 幸手市域の公共交通は香日向～東鷲宮駅間の路線バス休止、幸手駅～杉戸高野台駅間の路線バスも今年12月の廃止決定と縮小傾向が止まらない。市内外へのおでかけ機会の確保・向上は地域交通の重要な役割であり、市外の鉄道駅とのアクセス確保は住民の強い要望でもある。

幸手市は市循環バスもデマンド型交通も運行区域を市内に限定し

てきた。今後は住民の生活圏の鉄道駅も対象とする公共交通の「リ・デザイン」を進めるべきである。市の対応を伺う。

A 市が今年度策定する地域公共交通計画は、地域にと

って望ましい地域旅客運送サービスの姿を明らかにするマスタープランであり、地域の移動手段を確保するため、市や交通事業者、地域関係者が協議し、公共交通の基本的な方向性や、施策の位置付けを定めるものである。

また、市民の日常生活における移動範囲に伴い形成される生活圏を踏まえる必要があることから、市民の市外への移動についても想定しながら計画を策定することとなる。

(市民生活部長)

地域資源を活かした観光・地域振興策を問う



木村治夫議員

Q 市内の観光名所・観光事業を最大限に活用すること、

これは市経済財政効果を増幅させる重要施策である。(1)本年の桜まつり実地状況また、観光客数・車輛数、渋滞状況は。(2)実施後の経済収支状況、臨時停車駅設置、検討、鉄道事業者との協議等は。(3)保存会との政策協議、協定書の作成は。(4)市観光協会との連携対応等は。(5)市として、地域振興・観

A (1)桜まつりの来場者は約50万人、駐車場利用台数は約5万8千台であり、以前ほどの渋滞はなかった。(2)経済効果等は算出していないが、一定の経済効果があったと認識している。臨時停車駅は、今後鉄道会社と様々な機会でもコンタクトを取っていく。

(3)協定締結に向け、協議を進めている。(4)観光協会や商工会と連携し県営権現堂公園の観光資源とし

光振興についての具体的な活用策・整備計画等、対応施策を伺う。

の活用を図る。(5)年間を通して公園に観光客が訪れるよう、SNS等を活用して情報発信をする。

(市長・建設経済部長)

令和5年5月臨時会 提出された議案の結果

公明党…公 新政会…政 新緑…緑 日本共産党…共 無所属…無 (○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席)

※令和5年6月21日現在

(市長提出議案)

議案番号	議案名	議席番号・議員名															付託委員会	議決結果
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
		高野 優一(緑)	小泉 圭司(無)	宮澤 大地(無)	芦葉 弘志(公)	四本奈緒美(公)	坂本 達夫(無)	小林 英雄(政)	枝久保喜八郎(無)	木村 治夫(無)	松田 雅代(無)	小河原浩和(緑)	本田 謡子(政)	藤沼 貢(無)	青木 章(緑)	大平 泰二(共)		
議案第30号	専決処分の承認を求めることについて(専決第2号) 幸手市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員承認
議案第31号	専決処分の承認を求めることについて(専決第3号) 幸手市都市計画税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員承認
議案第32号	専決処分の承認を求めることについて(専決第4号) 幸手市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員承認
議案第33号	専決処分の承認を求めることについて(専決第5号) 令和5年度幸手市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員承認

令和5年6月定例会 提出された議案の結果

(市長提出議案)

議案第34号	幸手市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	総務	賛成全員可決
議案第35号	幸手市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	×	文教厚生	賛成多数可決
議案第36号	令和5年度幸手市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	総務 文教厚生 建設経済	賛成全員可決
議案第37号	固定資産評価員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
議案第38号	監査委員の選任について	×	×	×	×	×	×	退	○	—	×	×	×	×	×	×	○	—	賛成少数不同意

(議員提出議案)

請願第1号	学校給食の完全無償化に関する件	×	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	○	文教厚生	賛成少数不採択	
請願第2号	18才までの医療費を無料化に関することを求める件	×	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	○	文教厚生	賛成少数不採択	
決議案第2号	枝久保喜八郎議員の議長不信任決議								退								—	—	賛成多数可決 (無記名投票)

5月臨時会

傍聴者 1人の方が傍聴されました。

6月定例会

傍聴者 34人の方が傍聴されました。

議会インターネット中継のアクセス件数

インターネットを利用した議会中継(ライブ及び録画)を行っております。

4月 103件 5月 452件 6月 2,821件

の方が視聴されました。

6月定例会 会期日程

- 6月1日(本会議)
 - ・開会・会期の決定・報告事項
 - ・市長提出議案一括上程、提案理由説明
- 6月2日・5日・6日(本会議)
 - ・市政に対する一般質問
- 6月12日(本会議)
 - ・議案に対する質疑
- 6月13日(委員会)
 - ・議案の委員会付託
- 6月14日(委員会)
 - ・総務常任委員会
- 6月15日(委員会)
 - ・文教厚生常任委員会
- 6月15日(委員会)
 - ・建設経済常任委員会
- 6月22日(本会議)
 - ・委員長報告、質疑、討論、採決
 - ・閉会

議会広報編集委員

委員長 枝久保 喜八郎
副委員長 本 田 謡 子
委員 高 野 優 一
委員 小 泉 圭 司
委員 宮 澤 大 地
委員 芦 葉 弘 志
委員 坂 本 達 夫
委員 小 林 英 雄
委員 大 平 泰 二

編集後記

4月に行われた一般選挙に於いて新たに15人の議員が選出され、そのうち4人の新人議員が誕生いたしました。新体制となり6月の議会では早くも議論を戦わせる場面もありました。一人ひとりにより良い幸手市を目指し熱い信念を持って行動することにより活発な議論が繰り広げられ活きた議会運営につながると信じています。市民の方々には是非市議会の様子に関心を持っていただき傍聴やネット配信をご覧頂いて、開かれた議会を実感していただきたいと思います。

